

Plume[®] Signal

スマートホーム向けのプロアクティブ、自律的、インテリジェントなプラットフォーム

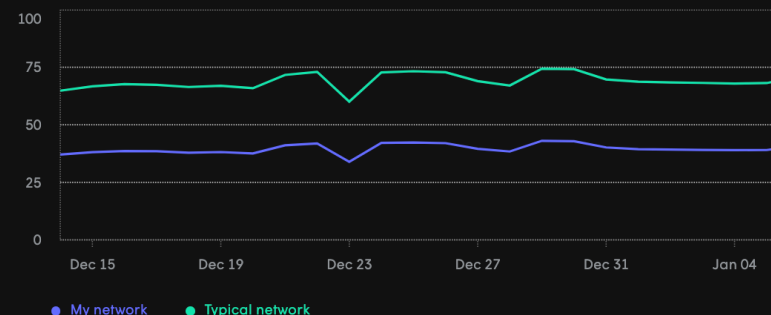
スマートホームは進化しています。同様に、それらをサポートするシステムも進化する必要があります。

加入者は、接続されたさまざまなホームデバイスで完璧なパフォーマンスを期待しています。しかし、現在のシステムでは問題を予測することはできません。また、満足していない消費者が問合せをするとき、問題は必ずしも明確ではありません。Signalを使うと、問合せをしたり解約したりする可能性が高い消費者を予測し、消費者が対応する前に問題を解決できるようになります。

Time Range

Last 30 days ▼

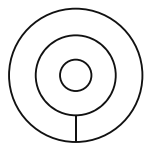
Avg. health score over time



消費者の自宅はスマートです。Signalはさらにスマートです。

Signalは、AIを利用した問題解決システムであり、データを使用して、問題が苦情を引き起こす前に、問題を自動的に予測、特定、解決します。Haystackとして知られるPlumeのバックエンドソフトウェアスイートの一部であり、優れた消費者体験管理のための複数のアプリケーションを提供します。

主な機能



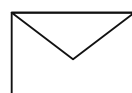
何が起こっているのか、何が緊急なのかを理解する
個々の場所のパフォーマンスを完全に可視化し、サービスの問題の根本原因を特定し、ネットワーク全体を長期にわたって監視します。



指標が変更された理由と影響を受けた人を知る
最適化された閾値に基づいて通知が送信され、リスクのある消費者や問題が発生している消費者を特定できます。

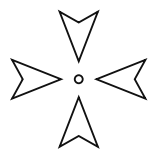


AIが予測する入電数と影響を確認する
根本的な原因を理解し、解約リスクの高い消費者を予測し、消費者の満足度を測定し、問題が発生する前に行動を起こします。



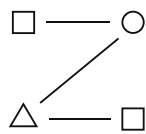
プロアクティブに消費者に連絡し、問題を効率的に解決する
自律的なワークフローにより、リスクのある消費者への通知を送信します。アウトリーチ、エンゲージメント、解決の統計をすべて1か所で確認できます。

主なメリット



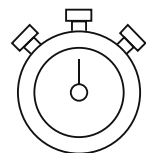
可視性

Signalダッシュボードで比類のない洞察を得ることができます。特定の場所にドリルダウンし、問題を特定して解決します。全体的なパフォーマンスと傾向を監視します。



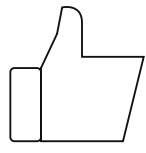
応答性

問題が指標に影響を与える前にそれを解決します。Signalは、サポートのニーズを迅速に分析、計画、および対応するための重要なネットワーク情報を提供します。



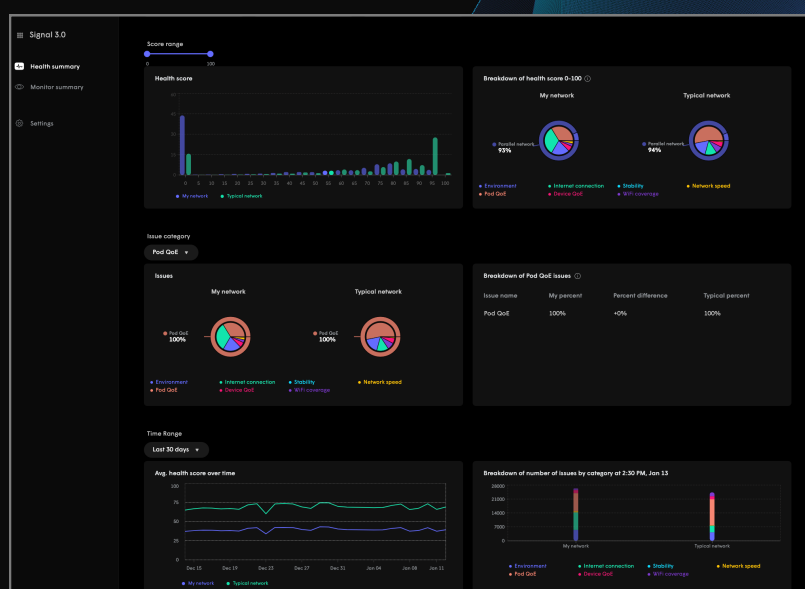
効率

完全なサポート情報と自律的なメッセージングワークフローを使用して、問題が特定されるとすぐにそれを解決することにより、コールイン率とトラックロールを削減します。

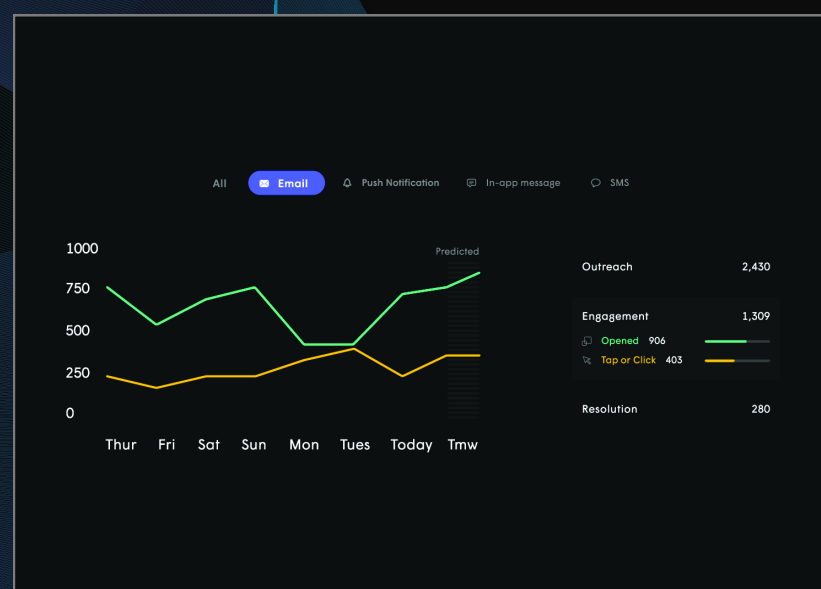


消費者の満足度

消費者が満足するモダンなスマートホーム体験を提供します。サービスを特定して調整し、解約を減らし、消費者の顧客生涯価値を高めます。



インタラクティブダッシュボードと
アクション可能なアラート
可視化、フィルタリング、並べ替え、
および検索をして傾向を分析します



リアルタイムの洞察を備えた
消費者ワークフロー分析
消費者エンゲージメントに基づいて
データ駆動型の意思決定を行います

Plume をお選びいただく理由

Plume のサービスは通信事業者の業務効率を向上させ、同時にコストを削減してきた実績があります。*



NPS

60+



技術者
派遣件数

67%



月間
ARPU

15 USD



ROI

200%

* Plumeを採用した通信事業者の顧客層より集計された平均値

早速始めましょう

Signalがどのようにサポート業務を変革し、ネットワークの制御を実現するか、詳細については、partner@plume.com までお問い合わせください。



© 2023 Plume Design, Inc. All rights reserved. Plume、Powered by Plume、Powered by Plume HomePass、Plume IQ、SuperPod、PowerPod、HomePass、OpenSync、Adapt、Control、Guard、Sense、Thrive、Haystack、Panorama、Signal、Frontline、Harvest、Clarity、Crusade、Generate は Plume Design, Inc. の登録商標です。他社名および他社製品名は情報提供の目的でのみ使用されており、それら名称は各所有者に帰属する商標である場合があります。